

第3学年〇組 英語科学習指導案

令和2年〇月〇日（〇）第〇校時
 活動場所 〇階 3年〇組教室
 生徒数 男子〇名 女子〇名
 授業者 〇〇 〇〇

1 単元名 PROGRAM 6 Let's Talk about Japanese Things. Sunshine English Course 3 (開隆堂)

2 単元について

(1) 教材観

本単元の内容は、学習指導要領3(2)イの「外国や我が国の生活や文化についての理解を深めるとともに、言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重する態度を育てるのに役立つこと」の点を踏まえている。Program 6-1で「鳥獣戯画」について、Program 6-2で日本の伝統的なおもちゃであるけん玉とヨーヨーとの比較についての報告を読み、続くProgram 6-3では、日本の文化や伝統的な行事・事物等について英語で表現する活動を行う。

自国の文化等についての知識はあっても、それを英語で表現するということになる、どのように表現すればよいのかということが問題になる。相手の文化に対応する概念がない場合は、訳語だけを充てることはできず、説明を加えることになる。どのように表現すれば的確に相手に理解してもらえるのかを意識しつつ、日本文化等を英語で発信するところに生徒の興味・関心が向けられるように指導していきたい。また、本単元の主言語材料である現在分詞や過去分詞を用いて人や物について詳しい説明を付け加えることができるようにして、My Project 8の日本文化の紹介につなげていきたい。

(2) 生徒の実態

本校独自のアンケートを8月と10月に実施した結果、以下のようになった。

	当てはまる		どちらかと言えば 当てはまる		どちらかと言えば 当てはまらない		当てはまらない	
	8月	10月	8月	10月	8月	10月	8月	10月
①英語の授業で友達と英語を使って活動することで、新しい英語の表現を使えるようになりましたか。	41.3 %	49.5 %	42.4 %	39.7 %	13.4 %	8.0 %	2.9 %	2.9 %
②英語の授業で、自分や友達の考えや気持ちなどについて英語で聞く、話す、読む、書くなどの活動に積極的に取り組みましたか。	53.5 %	56.9 %	37.8 %	35.6 %	7.0 %	5.7 %	1.7 %	1.7 %
③英語の授業で、英語を使って活動することで、自分も英語を使ってみたいと思うようになりましたか。	39.5 %	47.8 %	42.4 %	37.4 %	15.1 %	12.1 %	3.0 %	2.9 %

質問①②の8月実施の結果を見ると、積極的に活動に取り組んでいる生徒が91.3%であるにもかかわらず、新しい英語の表現を使えるようになったと実感していない生徒が16.3%いることが分かった。そこで今年度は、帯活動としてEnglish Talkを行うことにした。これは、与えられたテーマに沿って即興で相手と会話をするものである。はじめのうちは、多くの生徒が30秒間会話を続けることも難しい状態であったが、相手に聞き返したり確かめたりする表現、相づちの仕方、つなぎ言葉等につい

て指導したり、既習表現について確認する機会を意図的に設けたりしたところ、現在ではほとんどの生徒が2分間会話を続けることができるようになってきている。10月に実施した調査結果からは、生徒が積極的に協働した結果、新しい表現を使えるようになってきていると実感している様子が読み取れる。今後も、意図的に英語を使って話す機会を設け、既習表現を定着させられるよう指導していきたい。

(3) 指導観

本校では Student Teacher 制を取り入れ、英語を苦手とする生徒、得意とする生徒双方にとって学びが深まるように指導している。平素の授業では、ペアやグループでの活動を多く設けることで、互いに協働して学ぶ機会を増やしていきたい。

本時においては、導入の場面でどのような表現を使うことができるのかを予想させ、演習を通して生徒自身が日本文化紹介の文を作ることができるように指導していきたい。また、教師はできる限り英語で授業を行い、生徒が積極的に英語を使おうとする姿勢が育つように指導していきたい。授業が、実際のコミュニケーションの場となるように設定していきたい。

3 研究の視点

(1) 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりについて

毎回の授業の主に導入場面において、**Today's Goal**の板書カードを使用して本時の目標を提示している。授業で配布するプリントには、生徒がめあてを達成するため、段階的に学習活動が記されている。生徒が学習のめあてや、それを達成するための見通しをもって意欲的に授業に参加できるようにするためである。

また、Student Teacher 制を基本としたペア活動やグループ活動を多く取り入れ、生徒同士で協働して課題解決を行えるようにしている。自身の考えや学びを協働する中で深められるようにしている。

(2) 「まとめ」「振り返り」の充実について

新出文法事項を導入した際は、板書内容をもとに、教師と生徒で学習内容を確認する機会を設けている。教科書本文の内容理解を目的としている授業の場合には、学習内容についての理解度を図るための質問を教師が生徒に対して行い、まとめとしている。

振り返りについては、本校英語科共通の振り返りカードを使用している。振り返りカードの記入項目は、日付、積極性(4段階評価)、本時の目標・課題、自己評価である。自己評価の欄には、授業のまとめの内容を踏まえて、今までに学習したこととの関連、今日の授業でできるようになったことや気づいたこと、これからの学習への見通しを入れて書くように指導している。

4 単元の目標

簡単な語句や文を用いて、相手に伝わるように文章を書いたり伝えたりすることができるようにするために、日本の伝統的な事物について説明されている文章を読み、現在分詞や過去分詞の使い方を整理し活用する。

5 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①積極的に英語を話したり、相手のことを理解している。	①分詞を使って、人や物を詳しく説明することができる。	①分詞を用いた文章の内容を正しく理解することができる。	①分詞が使われた文の構造や用法を理解している。 ②英語で書かれた語や文の発音やイントネーションなどについて意識して音読をすることができる。

6 指導と評価の計画（全6時間扱い）

時間	主な学習内容と学習活動	評価規準	評価方法
1	○現在分詞の後置修飾の文構造を理解する。 ○ペアやグループで現在分詞の後置修飾が使われた文を練習する。	ア① イ① エ①	活動の観察 ワークシート
2	○現在分詞の後置修飾を含む Program6-1 の教科書本文の内容を理解する。	ウ① エ②	活動の観察 ワークシート
3	○過去分詞の後置修飾の文構造を理解する。 ○ペアやグループで過去分詞の後置修飾が使われた文を練習する。	ア① イ① エ①	活動の観察 ワークシート
4	○過去分詞の後置修飾を含む Program6-2 の教科書本文の内容を理解する。	ウ① エ②	活動の観察 ワークシート
5 本時	○日本ならではの物などについて現在分詞や過去分詞の後置修飾を用いて話す。	イ① ウ①	活動の観察 ワークシート
6	○Program6-3 の教科書の内容を理解する。 ○前時に作った文章を用いて、クイズを出し合う。	ア① イ① エ①	活動の観察 ワークシート

7 本時の学習

(1) 目標

- ・分詞を使って、日本ならではの物などを説明する文章を作ることができる。
- ・相手に自分の作った文章を伝え、相手の説明を聞いて理解することができる。

(2) 展開

過程	学習内容	学習活動	○評価・指導上の留意点
W-up 10分	1 あいさつ 2 歌 “Let It Be” 3 帯活動 ・ Daily Questions ・ English Talk	T: Good afternoon, everyone. S: Good afternoon, Ms. Fujimoto. T: How are you? S: I'm ○○, thank you. ①Do you know what day it is? ②Do you know what the date is? ③Do you know how the weather is? ④Do you know what time it is? 与えられたトピックについて、2分間即興で相手と会話をで行う。	・英語の授業の雰囲気を作る。 ・既習の間接疑問文を用いて相手に質問させる。 ・会話が止まってしまっているペアのところに声をかけ、会話のきっかけを作る。

<p>導入 8分</p>	<p>4 日本文化等に関するクイズ</p> <p>5 本時の目標の確認</p>	<p>日本ならではの物などについて分詞を用いて説明された文章を聞いて、それが何なのかを考えさせる。</p> <p>T: It is a small and portable shrine seen in a festival. People carrying it on their shoulders shout “Wasshoi, wasshoi.” <神輿></p> <p>T: It is a kind of Japanese traditional dance seen in summer. People wearing <i>yukata</i> dance to the music. <盆踊り></p> <p>T: It is a game using many cards. The cards have poems written by many people. One person reads a poem on a card, and players sitting on a floor try to get the right card as quickly as they can. <百人一首></p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒とのやりとりを通じて、日本文化等の紹介に興味をもたせる。 文の中に分詞が使われていることに気づかせる。
<p>目標 (Today's Goal) :日本ならではの物などを分詞を使って説明しよう</p>			
<p>展開 22分</p>	<p>6 Check and Examples</p> <p>7 Let's Try</p>	<p>プリントの練習問題を解き、答え合わせ後、口頭練習をする。</p> <p>日本ならではの物などについて、分詞を使って説明する文を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 早く終わった生徒が、困り感のある生徒に教えに行く (Student Teacher 制)。 <p>○観察 (イ①)</p>
<p>まとめ ・ 振り返り 10分</p>	<p>8 まとめ</p> <div data-bbox="261 1279 1102 1473" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 日本ならではのものを英語で説明するときには、易しい日本語に直してから考える。 分詞を使って文を作る時には、分詞と説明される語の関係に気を付ける。 </div> <p>9 適用問題</p> <p>10 振り返り</p> <div data-bbox="261 1641 1102 1845" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 今後は、授業で習ったもの以外についても、分詞などを使って英語で説明できるようにしていきたい。 次回の活動がうまくいくように、もう一度自分で作った文章を見直しておきたい。 </div>	<p>本時の学習内容についてまとめる。</p> <p>黒板に提示されたものについての説明文を作り、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 板書の内容を確認しながら、生徒と教師で口頭でまとめる。 <p>○観察 (イ①、ウ①)</p>

8 板書計画

Today's Goal	日本ならではの物などを分詞を使って説明しよう	Wednesday November 11th sunny and cool about 1:50 p.m.
Picture 1	It is a small and portable shrine.	
Picture 2	It is a <u>shrine</u> <u>seen</u> in a festival.	English Talk Topic
Picture 3	People <u>carrying</u> it on their shoulders shout "Wasshoi, wasshoi."	